

今月のトピック

こどもの前での夫婦ゲンカはこどもへの  
「心理的虐待」です

こどもの前での夫婦ゲンカや配偶者暴力があることは、こどもの成長や発達に悪い影響を与え、  
長期にわたって深刻な影響が出ます。

でも…

だんだんと良好な  
人間関係がもてなくなります  
社会参加がしにくくなります

- いつもおびえている ●友達とうまく遊べない
- 思い通りにならないと ●すぐに怒る
- 暴力をふるう

大きすぎるストレスは  
心身の発達や脳、赤ちゃん  
にも影響します

こどもの前で夫婦ゲンカや  
配偶者暴力があると…

- 物の壊れる音
- 暴言・暴力
- 恐ろしい表情
- 怒鳴り声
- 叫び声

こどもはこんなことを感じます

- 不安や心配が 大きくなる
- 自分は悪い子だ
- 自信がなくなる
- おびえる
- 自己肯定感が 低くなる
- 親を怖がる



大人だってケンカしますよね。その時は…

- ・こどもの前では、いったん離れて冷静に。
- ・意見が合わない時には、こどものいない場所や時間帯で話し合いをしましょう。
- ・お互いに距離をとって深呼吸を。



困ったときはご相談ください

氷川町こども家庭センター

☎0965-62-3456



町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛（毎月5日必着）

短歌

剪定の枝切り選ふ職人の  
終えて眺む秋風そよぐ  
西野津 古崎 栄子  
庭先で下校の学童から「今日は」と  
声を掛けられ元氣もらう  
西上宮 廣瀬 小亀  
我が町に女性議員の初当選  
大きな夢に向い進めよ  
西野津 古崎 スエノ  
母よいまいづくにおはす天の川  
七十路過ぐも恋しかりけり  
北野津 井田 道寛

俳句

年重ね千し柿の滋味好みたる  
西上宮 山下 環  
澄み空に赤赤と染む彼岸花  
西野津 古崎 栄子  
「初冠雪」氷川町も気温「二〇度」割る  
西上宮 廣瀬 小亀  
姉往きて紅葉三日月さみしそう  
西野津 古崎 スエノ  
なきがらのころがりゆくや秋の蝶  
北野津 井田 道寛

『金閨寺燃ゆる』

三島由紀夫「金閨寺」から その13  
法道寺 本田 花風

これは内海の言い分であるが、内海に限らず、当時、川端受賞に駆け付けた三島の映像を見た人は、その強張った表情を見逃すことはなかったはずであり、その三島が短命に終わったのは、単にノーベル賞を逃したことと共に、彼は自分の存在が作家だけではないということに訴えるために、その後の「盾の会」結成、市谷決行など、彼の行動に繋がっていったと言っても過言ではないだろう。

第一章 ストーリーのおおよそは  
主人公溝口が育ってきた舞鶴の寺の環境や、彼が抱えている生き辛さ、金閨に焦がれる発端から始まる。そして有為子の心中事件が。脱走兵と駆け落ちするが、憲兵に追われ、心中を遂げる。事件を目撃した溝口にとって鮮烈な体験であり、この話が後々、彼の心情を揺さぶることになる。後に父に伴われ金閨寺に赴く。金閨寺での修行が認められ進路が決まり舞鶴に帰ったのち父が死ぬ。

溝口は父親から金閨寺の話を聞かされてきた。己の想像力だけを頼って、絢爛ない金閨のイメージを育て続けた。溝口はこのように言っている。

温かい一言

最近のニュースで心が温かくなるような話がありました。2歳半の子どもがいるお母さんの話です。2歳頃の子どもは「イヤイヤ期」といわれ、泣いて気持ちを表すことが多く、近所の家にも聞こえるくらい大きな声で泣くこともあります。時には、近隣の人から「迷惑している」、「なんとかならないか」と、厳しい言葉を言われることもあります。

ある日、外で子どもをあやしていると、近所の人と顔を合わせることがありました。日頃から子どもが「うるさくないか」と心配になり、謝罪の言葉を伝えました。すると、近所の人は、「子ども



もの声が聞こえるたびに、自分が子育てしていた頃を思い出し、我が子のようにいとおしく思っています。愛らしい声をおすそ分けしてくれてありがたいです。可愛い声がありがとう。」という感謝の言葉でした。お母さんはその優しさに、目がうるんだそうです。子育ての先輩としての近隣の人の温かい一言は、ネットを通して、多くの人から称賛する声が寄せられたという事です。

人が尊重され、  
生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。  
皆さんの参加をお待ちしています。

- テーマ 未来に向けて（同和問題）
- 日 時 12月11日(木) 13時30分
- 場 所 氷川町文化センター ロビー

八火図書館だより

☎0965-62-3489

今年1年、みなさんはどんな本との出会いがありましたか？  
12月には、今年読んだ本を思い返したり、1年の締めくくりの読書を  
楽しんでみませんか？  
そして、来年もみなさんに素晴らしい本との出会いがあることを  
願っております。



新着図書紹介

■ 一般書

マスカレード・ライフ / 東野 圭吾  
おいしいは やさしい / 宮田 愛萌  
飼い犬に腹を噛まれる / 彬子女王  
日本のいいもの おいしいもの  
/ KAILENE FALLS

■ 児童書

ゾウとクジラ / たなか しん  
おわにさま / きたがわ めぐみ  
みんないっちゃった / エーヴァ・リンドストロム  
インド象の背中に乗って / 小手鞠 るい



お知らせ

紙しばい上映会のお知らせ

紙しばい愛好会の皆さんによる紙しばいの  
上映会を開催します。  
◆ 期日 12月25日(※)  
◆ 場所 八火図書館 おはなしコーナー  
◆ 時間 10時30分～11時30分

おすすめ図書

エピクロスの処方箋 / 夏川 草介  
素敵な登場人物達と共に「死」に哲学で向き合うマチ先生の言葉は読者の心を温かく照らす  
優しさに溢れています。患者とその家族に寄り添う医師のやさしい言葉が胸を打つ感動作。

年末年始の休館：12月29日（月）～1月3日（土） 年明けは1月4日（日）から通常通り開館します